

兒こ雷らい也や豪傑こうせつ譚たん
 上の卷
 竹たけ并な五ご冊冊



^13
 3878
 49

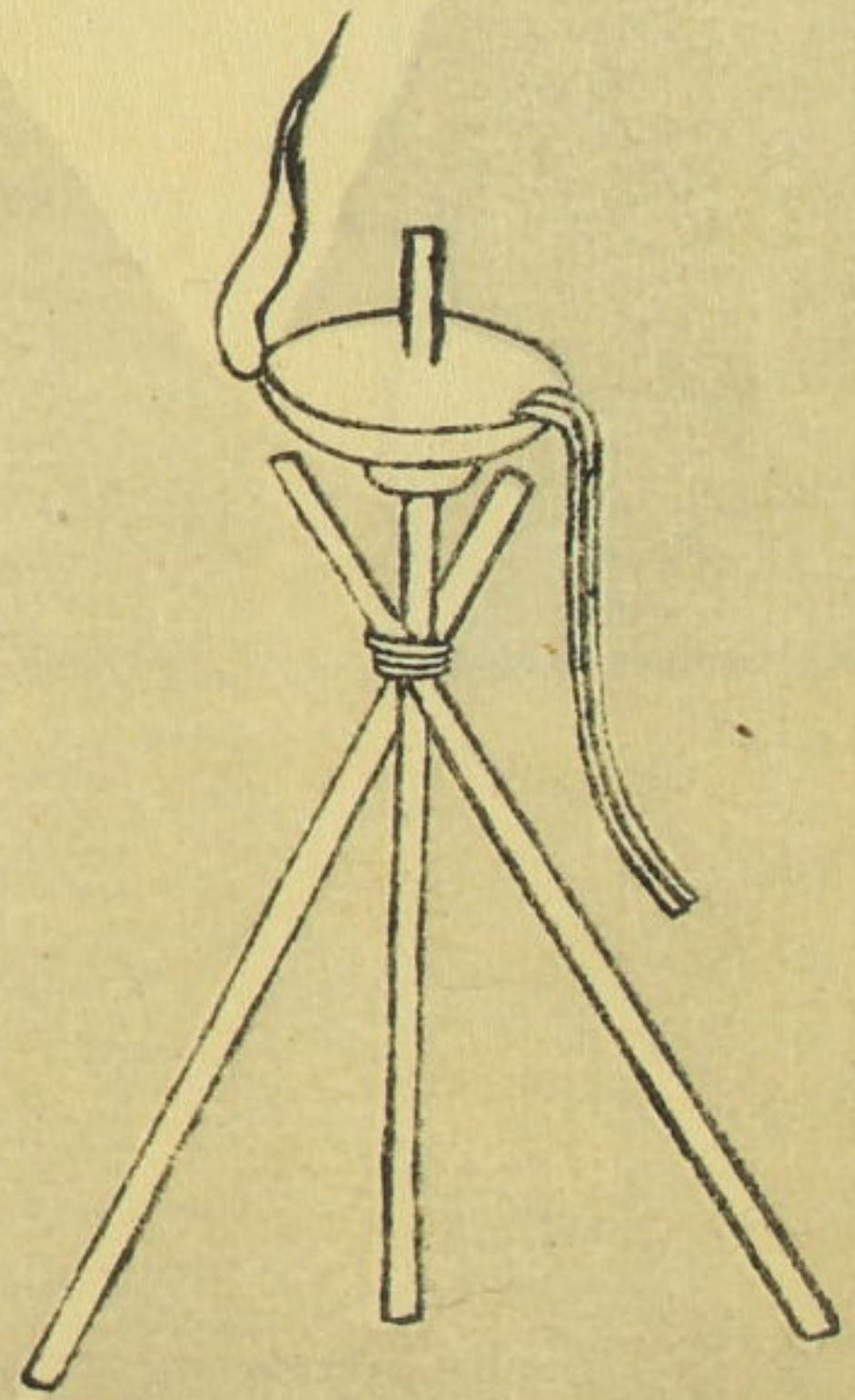


門へ13
號 3878
卷 49

兒雷也
豪傑譚

上卷

一 柙の亭作
一 壽多画



帛市 柙



福 一 福

宋沈做謙史曰京城闕門之區竊盜極多中畧以粉書我
來也三字於門壁之故人覺其鬼或子之綴其一物之
符盜名也自來也中世之故也其後世史亦云其
鬼也符也中世之故也其後世史亦云其
一也符也中世之故也其後世史亦云其
也符也中世之故也其後世史亦云其
後集也符也中世之故也其後世史亦云其
雷也符也中世之故也其後世史亦云其
也符也中世之故也其後世史亦云其

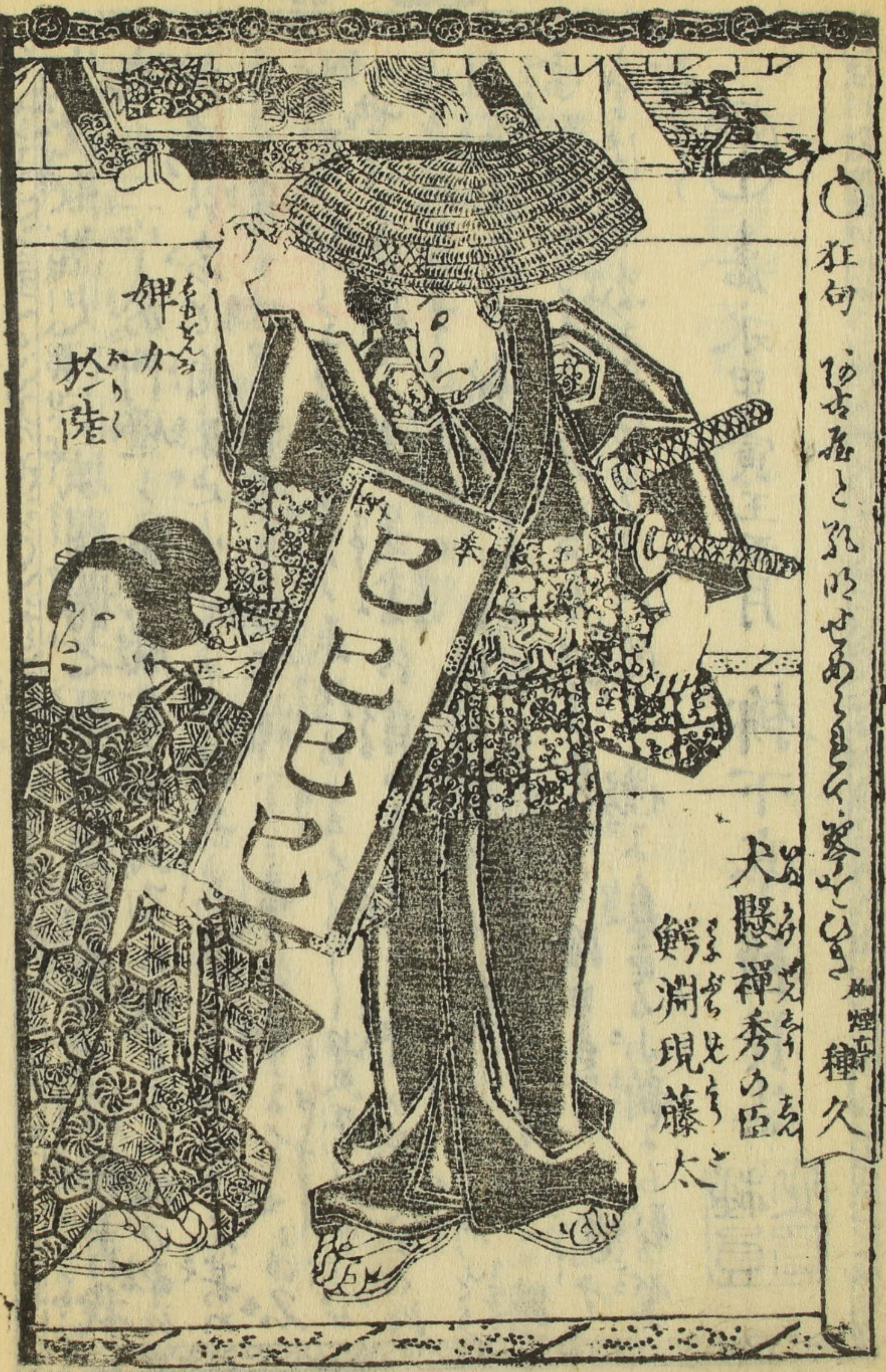
嘉永甲寅正月 柳下亭種員誌



己酉七月廿五日



浪士
望月右内
處女白露



御
於陸

大懸禪秀の臣
鯨淵現藤太
種久

○狂句 巴十五



浪士
望月
右内

悪漢
我良ハ

○ 赤白 大入もさるる如く敵のやまみ 柳雨亭 種安

駿州府中の

旅舎

富士屋

佐五右門

鱗形の
乃の
劔



兒番世廿五

狂句 何ぞのつまよりのきけ温石

翠松園 種春

兒番世



狂句 鉢の水に灰も袖もさらさら

柳豊亭 種年

弥勒町の
阿曾比 岸川

Vertical columns of handwritten text in a cursive script, likely a form of Korean or Chinese calligraphy, surrounding the illustration.

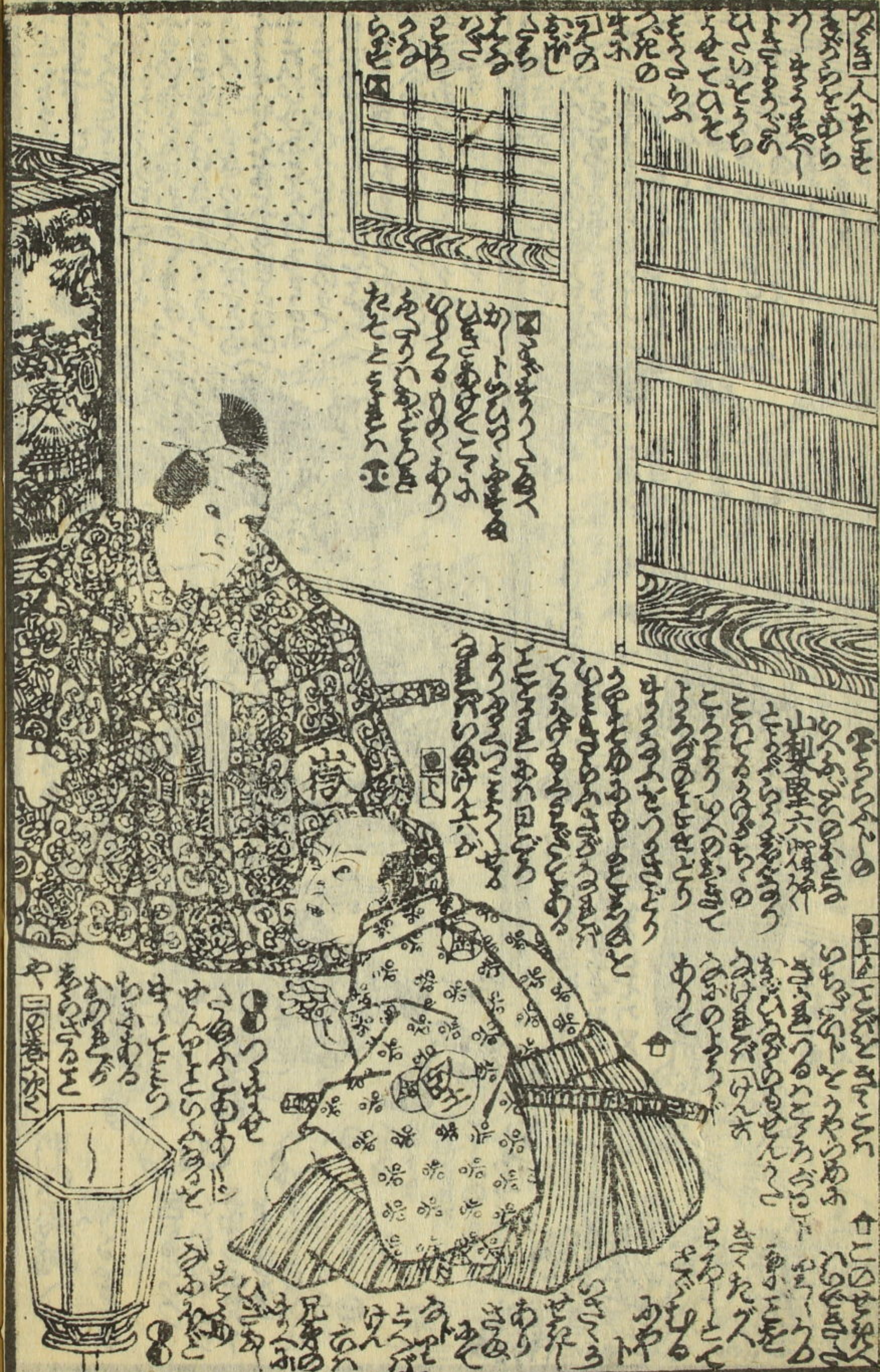


Vertical columns of handwritten text in a cursive script, likely a form of Korean or Chinese calligraphy, surrounding the illustration.



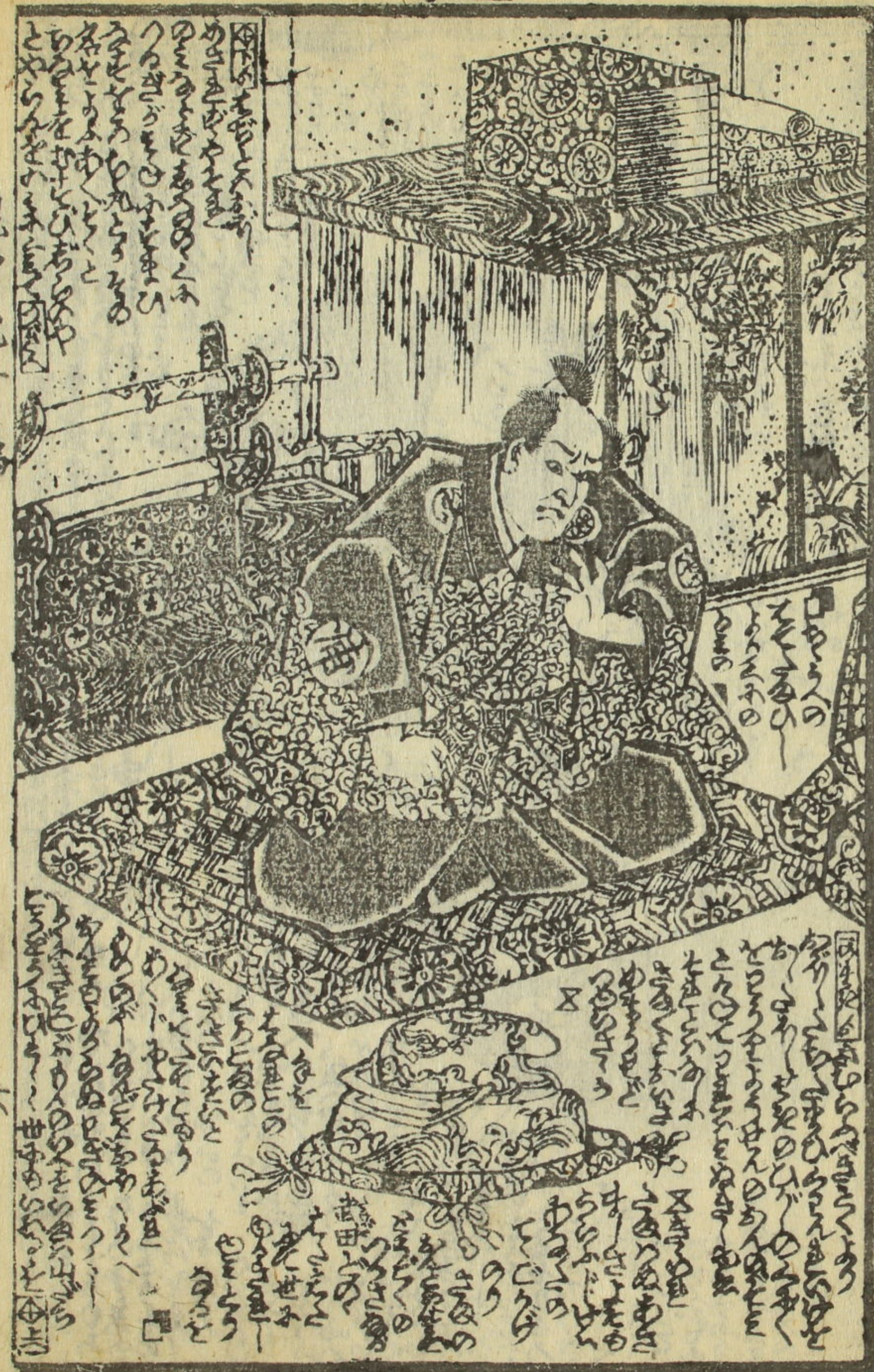
人...
...
...

...
...
...



...
...
...

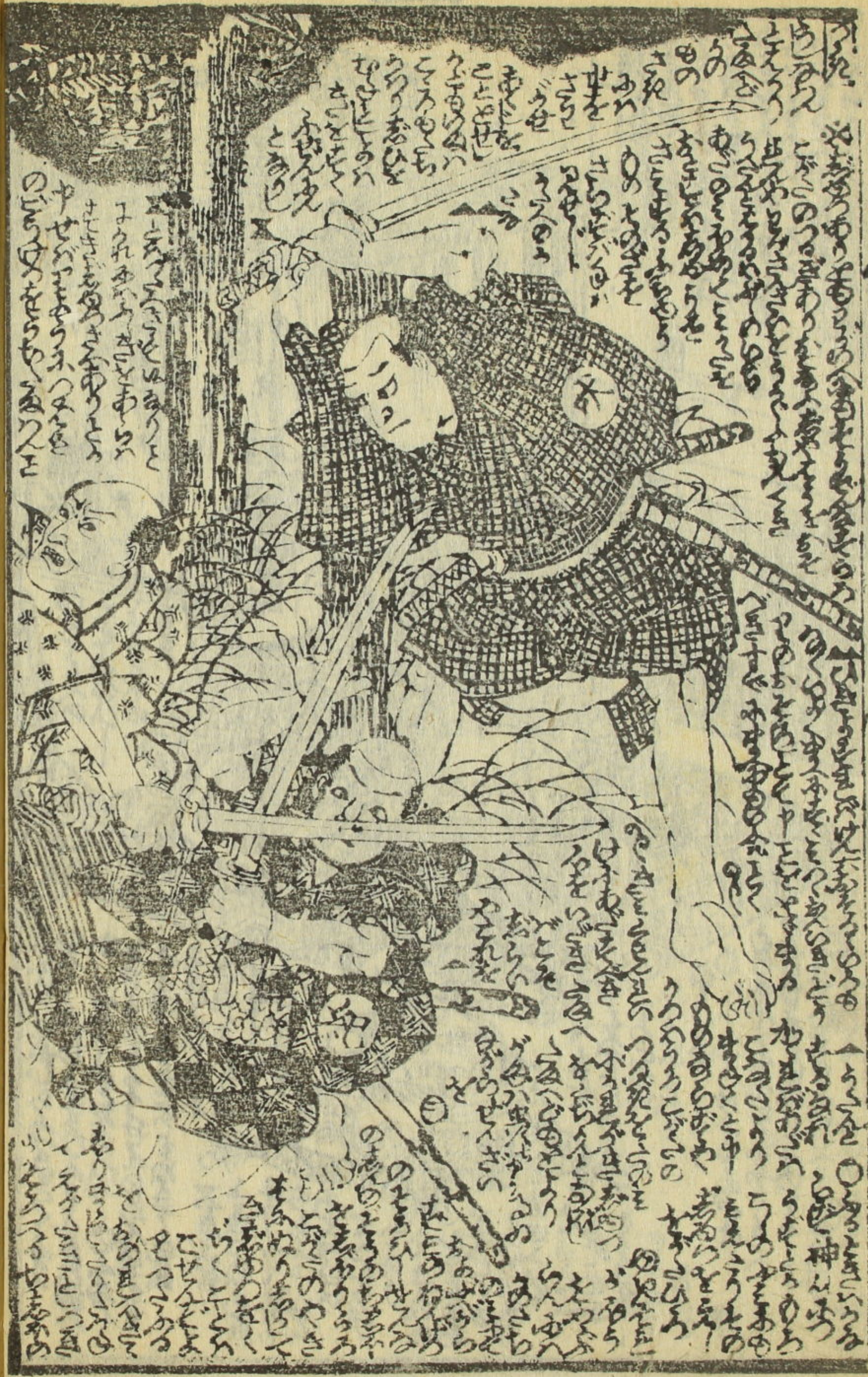
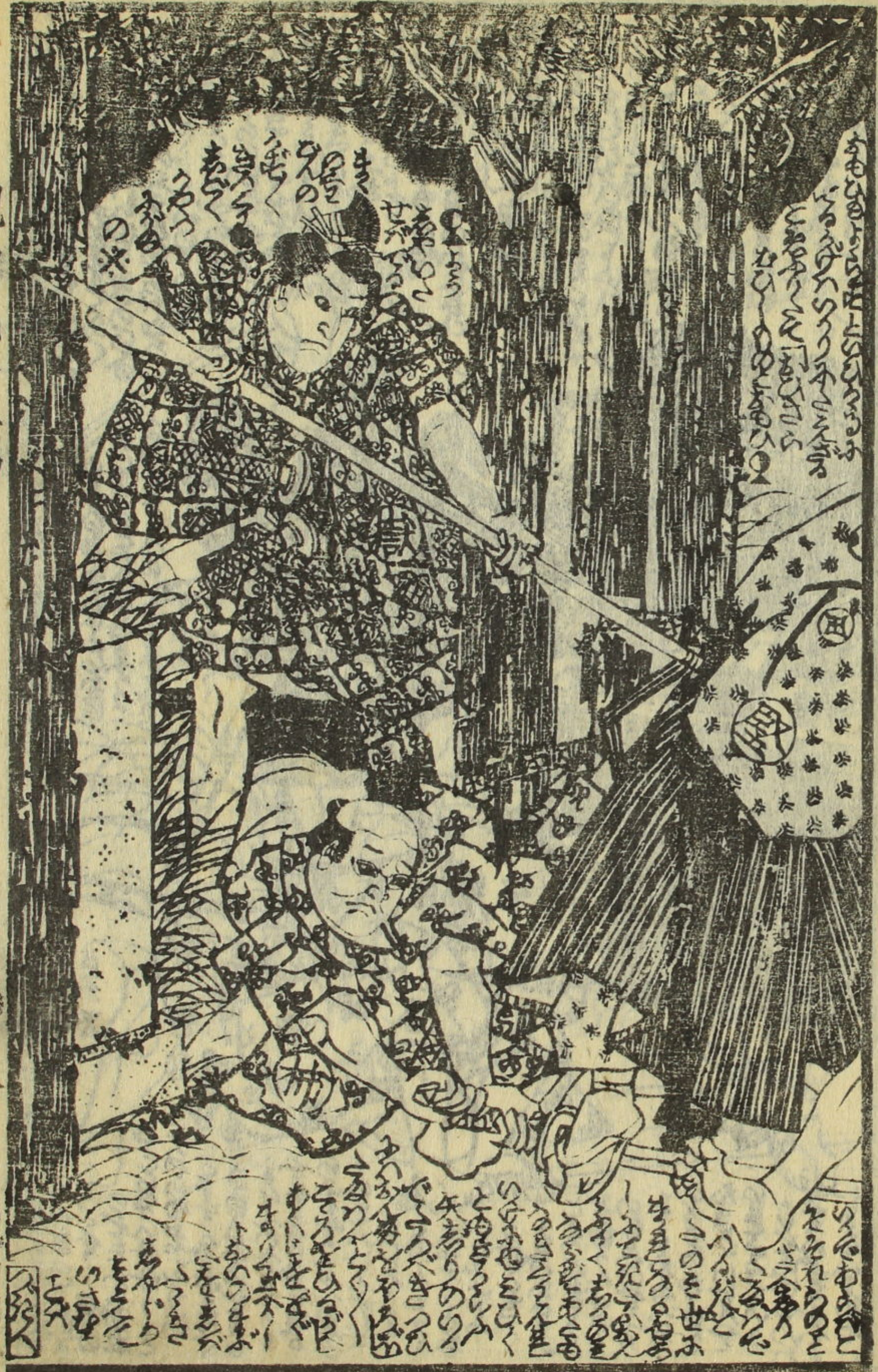
...
...
...



...
...
...

...
...
...

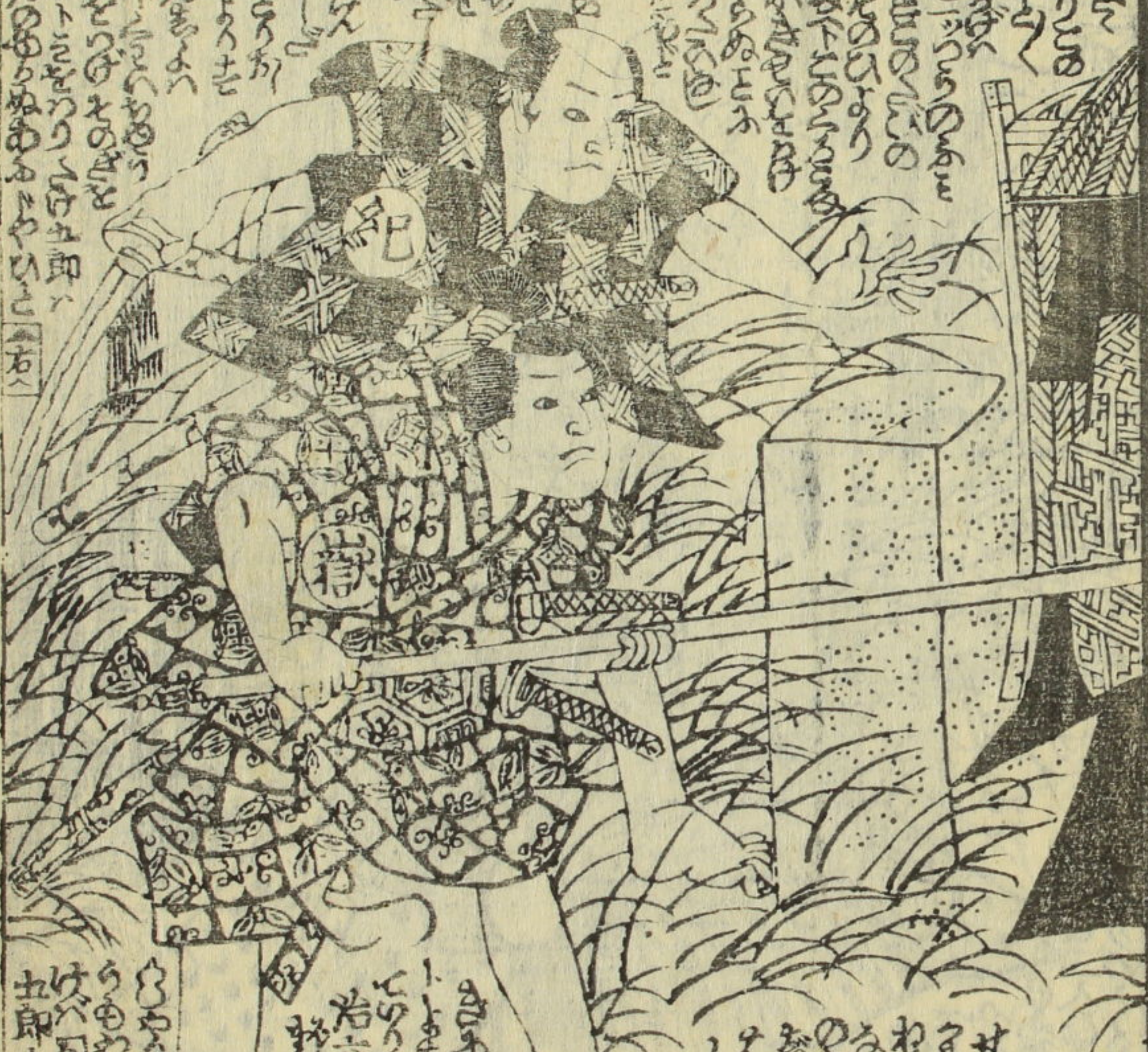
...
...
...



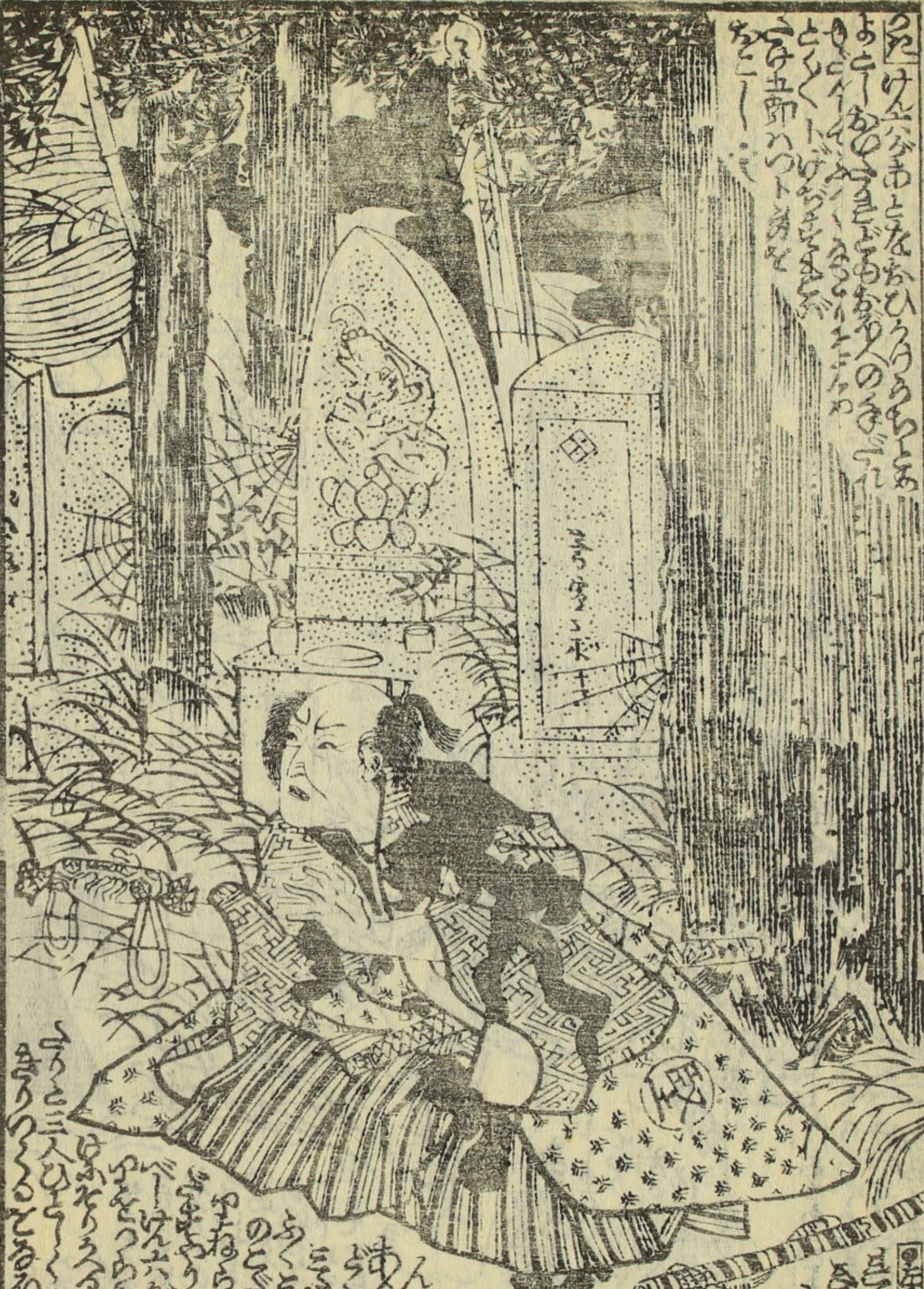
Handwritten text in a cursive script, likely a historical or literary account, surrounding the illustration.



Handwritten text in a cursive script, likely a historical or literary account, surrounding the illustration.



おけふ公事となおひつらちま
おのけのまじりあひのまじり
といくしつらちま
あひつらちま



おのけのまじりあひのまじり
といくしつらちま
あひつらちま
おのけのまじりあひのまじり
といくしつらちま
あひつらちま
おのけのまじりあひのまじり
といくしつらちま
あひつらちま
おのけのまじりあひのまじり
といくしつらちま
あひつらちま



おのけのまじりあひのまじり
といくしつらちま
あひつらちま
おのけのまじりあひのまじり
といくしつらちま
あひつらちま
おのけのまじりあひのまじり
といくしつらちま
あひつらちま
おのけのまじりあひのまじり
といくしつらちま
あひつらちま



種員作國輝画

一 兎雷也豪集譚

四拾七篇

二 休单紙

拾五篇

一 凡俗淺問獄

拾四篇

一 黄金水大盡盃

拾七篇

書肆 地本 問屋

芝神明前 和泉屋 市兵衛

銀座四丁目 同 支店

